

- * 米国本社リリース参考訳
- * 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

P & G 2023/24 事業年度 第4四半期(4-6月期)

通期米国会計基準：純売上高 2%増、希薄化後 1株当たり純利益 2%増

通期中核業績：本源的売上高 4%増、1株当たり中核利益 12%増

第4四半期米国会計基準：純売上高増減なし、希薄化後 1株当たり純利益 7%減

第4四半期中核業績：本源的売上高 2%増、1株当たり中核利益 2%増

2024年7月30日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2024事業年度第4四半期と通期の業績を発表しました。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)のジョン・モラーは、「2024事業年度も、素晴らしい年でした。チームは、厳しい経済環境や地政学的環境の中、本源的売上高成長率、1株当たり中核利益成長率、資金の創出、ならびに、株主の皆様への資金還元の当年度の目標を達成、あるいは上回りました。2025年事業年度に向けて、当社は、長期的な成長アルゴリズムに沿った力強い本源的売上高の成長、1株当たり利益の成長、フリーキャッシュフロー生産性の達成ができるものと期待しています。当社は、その性能により消費者が使用するブランドを決定している日用品カテゴリーの製品ポートフォリオへの集中や(製品性能、パッケージ、ブランドのコミュニケーション、店頭展開、ならびに、消費者と得意先への付加価値にわたる)優位性、生産性の向上、建設的な破壊、柔軟で責任ある組織の形成という統合的な戦略の実行に、引き続き専念していきます」と述べています。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

通期							
米国会計基準	2024年度	2023年度	%増減	会計基準外	2024年度	2023年度	%増減
純売上高	\$84.0	\$82.0	2%	本源的売上高	—	—	4%
希薄化後1株当たり利益	\$6.02	\$5.90	2%	1株当たり中核利益	\$6.59	\$5.90	12%

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

第3四半期(1-3月期)							
米国会計基準	2024年度	2023年度	%増減	会計基準外	2024年度	2023年度	%増減
純売上高	\$20.5	\$20.6	—%	本源的売上高	—	—	2%
希薄化後1株当たり利益	\$1.27	\$1.37	-7%	1株当たり中核利益	\$1.40	\$1.37	2%

* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

2024 事業年度通期の業績

当社は、2024事業年度通期の純売上高が、前年同期に対し2%増加して840億ドルであったと発表しました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、

4%増加しました。価格改定は、本源的売上高の成長に4%寄与しました。販売数量とミックスは、前年同期に対して同水準でした。

希薄化後1株当たり純利益は、純売上高の成長が、「ジレット」の商号などの無形資産の帳簿価額に対する現金支出を伴わない減損損失、および、非中核の組織再編費用により、一部相殺され、前年に比べ2%増加の6.02ドルとなりました。1株当たり中核利益は、12%増加して6.59ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益は、前年の1株当たり利益に対して16%増加しました。

当社の営業キャッシュフローは198億ドルで、通期の純利益は150億ドルでした。設備投資支出と特定のその他の事項を差し引いた営業活動によるキャッシュフローが、「ジレット」の減損損失、および、ナイジェリアを含む特定の企業市場での潜在的な事業清算に起因する累積の外国為替換算損失から生じた現金支出を伴わない損失を除いた純利益に対して占める割合である調整済フリーキャッシュフロー生産性は105%でした。

当社は、2024事業年度を通じて、93億ドルの配当金と50億ドルの自社株式の買い戻しにより、合計140億ドル超を株主の皆様に戻元しました。2024年4月の増配で、P&Gは、68年連続の増配と、1890年の株式会社化以来、134年連続の配当を記録しています。

4-6 月期の業績

当社は、2024事業年度第4四半期の純売上高が、前年同期比と同水準の205億ドルであったと発表しました。1%の報告書上の販売数量の増加と1%の価格改定の影響が、2%の不利な為替レートで相殺されました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、2%増加しました。事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上数量は、2%増加しました。ミックスは当四半期の売上高成長に影響を与えませんでした。

希薄化後1株当たり純利益は、主として、ナイジェリアを含む特定のエンタープライズ市場での潜在的な事業清算に関連する組織再編費用の増加により、前年同期に対し7%減少して1.27ドルになりました。1株当たり中核利益は、2%増加して1.40ドルになりました。為替レートの影響を除く1株当たり中核利益も、前年の1株当たり利益に対して6%増加しました。

当四半期の営業キャッシュフローは58億ドル、純利益は31億ドルで、調整済フリーキャッシュフロー生産性は148%でした。

各事業セグメントの4-6月期について

2024年4-6月期	販売	為替	価格				本源的	本源的
純売上高増減要因(1)	数量	レート	改定	ミックス	その他(2)	純売上高	販売量	売上高
ビューティー事業	-1%	-3%	3%	—%	—%	-1%	1%	3%
グルーミング事業	2%	-7%	5%	—%	—%	—%	2%	7%
ヘルスケア事業	2%	-1%	2%	1%	-1%	3%	1%	4%
ファブリック& ホームケア事業	2%	-1%	-1%	1%	-1%	—%	3%	2%
ベビー、フェミニン& ファミリーケア事業	-1%	-2%	—%	—%	—%	-3%	-1%	-1%
P & G 全体	1%	-2%	1%	—%	—%	—%	2%	2%

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ3%増加しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、価格改定の影響が、中国とスーパープレミアムブランドである「SK-II」の売上減少の影響で相殺され、前年同期比同水準でした。ヘアケア部門の本源的売上高は、価格改定、および、プレミアム製品の増加による有利なミックスにより、一桁台後半の増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、主にラテンアメリカでの価格改定と製品革新による販売数量の増加により、前年同期と比べ7%増加しました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ4%成長しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、プレミアム製品による有利なミックス、および、販売数量の増加により、一桁台後半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、価格改定と販売数量の増加がプラスの効果をもたらしたものの、風邪の流行が前年ほどではなかったことによるミックスの悪化で相殺されて、前年同期と同水準でした。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べて2%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、北米とヨーロッパで販売数量が増加しましたが、販売促進支出の増加による価格の低下により相殺され、前年同期と同水準でした。ホームケア部門の本源的売上高は、製品革新による販売数量の増加と有利な製品ミックスにより、一桁台後半の増加となりました。
- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ1%減少しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、シェアの軟化による販売数量

の減少が、プレミアム製品の増加によるミックス改善効果を上回り、一桁台半ばの減少となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な製品ミックスによる効果により、一桁台前半の増加となりました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、販売数量の増加が、不利な製品ミックスで相殺され、前年同期と同水準でした。

2025 事業年度の見通し

P & Gは、2025 事業年度通期のすべてを含めた純売上高が前年度比 2~4%の範囲で増加すると見込んでいます。為替レートは、純売上高の増加に対し、約1%の悪影響を及ぼすものと予想されます。当社は、本源的売上高成長率が 3~5%の範囲に収まるものと予想しています。

P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパース®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴィックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約 70 カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他の P & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/blogs> (英語) をご参照ください。